

# ワクチン接種を一日も早く、

## 新型コロナ対策

# PCR検査の徹底と、持続化給金等の再支給を

## ひづめ弘子県議

6月定例  
県議会  
6/14~30

6月に2回開催された厚生環境委員会。ひづめ県議は①新型コロナ・ワクチン接種 ②PCR検査の拡大 ③「生理の貧困」対策 ④牛乳による食中毒 ⑤子どもの医療費無料化 ⑥国民健康保険料（税）水準の県内統一化 —— などについて取り上げました。



津本ふみお県議と(6/18 本会議)

政府は、自治体任せでなく  
ワクチンの供給に責任を

日本のワクチン接種は人口比で世界107位、PCR検査は141位（6/23現在）と大幅に遅れています。それでもようやく、県内でも医療従事者、高齢者などに続き64歳以下の県民への接種が始まりました。ところが、6月末に国が突然、モデルナ製ワクチンの供給をストップ。県内でも、申請した職域接種48か所のうち、承認は16か所にとどまっています。国は、ファイザー社製ワクチンも、7月から供給を減らすといい、自治体の接種計画に影響が出ています。政府の責任が問われます。

福祉職員のPCR検査  
ヘルパーなども対象にすべき

検査の拡大で感染封じ込めをと、繰り返し提言してきた日本共産党。ようやく県は6月に、富山・射水両市の障害者福祉施設および、高齢者介護施設職員を対象にPCR検査を実施しました。他の自治体でも7月に実施予定です。

「生理の貧困」対策  
補正予算に1,000万円

コロナ感染拡大の影響は、非正規やひとり親など、女性たちのなかでより深刻です。20代でつくる「#みんなの生理」が今年3月に公表したオンラインアンケートでは、若者の5人に1人が「金銭的理由で生理用品を買うのに苦労した」と答えています。ひづめ県議は質問で「トイレにトイレットペーパーがあるのと同じように、生理用品が備えられている社会に」「ジェンダー平等をめざす契機に」と強調。6月県補正予算に、関連経費1,000万円が計上されました。

牛乳が原因の食中毒  
検査のあり方検討求める

6月17日に富山市内の学校・保育施設で発生した食中毒。1200人以上に症状があり、市内業者が製造した牛乳が原因とされました。原因菌は特定されていないものの、その後の業者への立ち入り調査では、タンクなどの汚れや大腸菌群が確認されました。富山保健所による年2回の定期検査では、把握していません



新日本婦人の会のみなさんが「生理の貧困」対策を県に申し入れ(5/27荻野佳子県教育長に要望書を提出)

子どもの医療費助成制度  
全県で窓口無料化

新田知事が設置し、15市町村長が参加する「ワンチームとやま」推進本部会議。今年度は5テーマの連携推進項目で、検討が進んでいます。昨年11月議会で「子どもの医療費助成制度の拡充」を求めたひづめ県議。今回、県は「来年度から県内全域で現物給付としたい」「対象年齢拡大にもなう助成額試算を10月までにを行う」と答えました。今後が期待されます。

## 核兵器禁止条約が1月発効 日本政府は署名・批准を 黒部市、入善町議会が「意見書」採択



核兵器禁止条約の採択から4年。今年1月までに50カ国が批准し、条約が発効しました。しかし、日本政府は「核保有国との分断を招きかねない」などと、参加を拒んでいます。これに対して、「被爆国である日本政府こそ署名・批准を」との運動が広がっています。県内の被爆者も41人にまで減少。県被爆者協議会や県原水協など平和団体の働きかけに、議会も応えようとしています。今年の原水爆禁止平和行進には、新田知事や五十嵐県議会議長からも激励金が寄せられました。



2021国民平和尾行進のみなさんが、県庁を表彰訪問(6/8)

## 野党共闘で大きな前進 共産党19、立憲民主党15議席 この前進を総選挙につなげて

7/4投票  
東京都議選

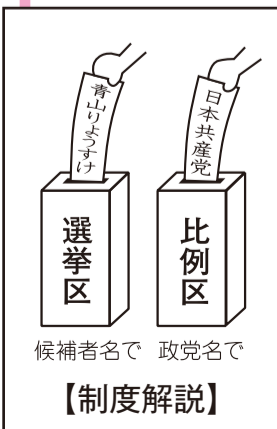
日本共産党は都議選で「五輪より命を大切にする政治を」「稼ぐ東京から福祉中心の都政に」と訴え、19議席に前進(+1議席)。立憲民主党と候補者調整を行い、

両党あわせて34議席を獲得。自民党の33議席を上回りました。この流れを、総選挙でもさらに広げましょう。

秋までに  
衆院選

総選挙の北陸信越比例ブロックは定数11。政党を選ぶ選挙です。

選挙区は、市民と野党の共闘をめざします。「政権交代」「野党の政権」めざして頑張ります。



比例代表  
北陸信越ブロック  
藤野やすふみ



富山1区  
党若者・子育て相談室長  
青山りょうすけ



日本共産党県議団 2021年7・8月  
県議会報告 No. 71  
ひづめ弘子版

〒930-0982 富山市荒川2丁目24-12  
電話(076)432-8383 FAX(076)442-1220  
Eメール/hiroko.jcp@sand.ocn.ne.jp

●ご意見、ご要望を何でもお寄せ下さい。